

## 1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- 生活に役立つ技術に関する「基本知識」や「技能」、生活をより良くするための「創造」や「工夫」のしかたを身に付ける。
- 実際に生活に役立つ作品を取り上げ、製作工程に従って作業を進めます。最後まであきらめず完成を目指すことにより、達成感や成就感を味わい、ものづくりの喜びを実感する。

## 2 年間学習計画と単元（題材）

学期	月	単元名 学習の内容	学習の達成目標(ねらい)
1 学 期	4	○生物育成の技術 ・作物を育てよう（～6月初旬まで）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に基づき、育成計画を具体化し、安全適切に栽培検査する。成長の様子などを記録する。</li> <li>・収穫レポートをまとめ問題解決の過程と結果を振り返る。</li> <li>・生物育成の技術の見方・考え方について考え、育成技術の適切な活用について考える。</li> <li>・エネルギーの変換方法が理解できる。</li> <li>・発電方法やエネルギーの変換効率、発電コスト、エネルギーの損失について理解できる。</li> <li>・電気回路の構造やその働きについて理解できる。</li> <li>・電気機器の保守点検や電気機器の安全な使い方について理解できる。</li> <li>・電気機器を安全に利用する仕組みを理解し、配線や電気機器の組み立てができる。</li> <li>・情報に関する技術の利用例や利点を整理する。</li> <li>・身の回りにある情報の技術を利用した機器やサービスに込められた工夫、見方・考え方に気付く。</li> <li>・処理の流れや手順を表現できプログラムの制作・確認、デバッグができる。</li> <li>・進んで情報の技術と関り、主体的に理解して技能を身に付ける。</li> </ul>
	5	○エネルギー変換の技術 ・エネルギーの利用と資源 ・変換と効率 ・電気に関する基礎知識 ・電気機器への利用	
	6		
	7	・電気機器の安全な利用 ・保守・点検	
2 学 期	9	☆LED センサライトの製作 ・正しい半田づけの方法	
	10	・回路基板の組立て ・回路の検査	
	11	・本体部の組立て	
	12	・作品の検査	
3 学 期	1	○情報の技術(1) ・生活や社会と情報の技術	
	2	・情報とコンピュータ	
	3		

### 3 評価方法

各観点	評価規準	評価方法
知識・技能	・生物の育成やエネルギー変換、コンピュータの活用に必要な基礎的な技能を身に付け、その技能を安全で適切に活用している。	・栽培実習、作品 ・観察 ・定期考査
思考・判断・表現	・生活と技術の関わりについて見直し、課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに改良し応用、工夫について考えている。	・作品 ・作業進度表 ・観察 ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	・栽培実習やエネルギー変換、コンピュータの活用に関する技術について関心をもち、生活を充実・向上するために進んで工夫し創造、実践しようとしている。	・授業態度 ・提出物 ・観察 ・定期考査

### 4 授業の取り組みについてのアドバイス

- ・技術では何気ない作業の1つ1つの中にも自分で課題を見つけ、自ら考えて工夫しながら作業を進めてゆくことが大切です。  
例えば、生物育成の育成時の水やりなども、さまざまなことをよく考え試行錯誤をくりかえしながら管理作業を進めていくことが重要です。
- ・普段から授業の説明をよく聞き、重要だと思った点があれば、指示がなくても自らの判断でノートに書き留めるなどの積極的な姿勢が必要です。

### 5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・技術科では家庭での予習は特に必要ありません。そのかわりにその日に学習した授業内容をよく思い出して、復習をしっかりするように心がけてください。

### 6 定期テスト前の取り組みについてのアドバイス

- ・技術の試験問題には、実習時に説明した作品製作上のポイントや注意点なども出題されます。
- ・授業で使用したプリントを中心によく復習し、教科書の関連する部分にも目を通していきましょう。

### 7 苦手な人の取り組みについてのアドバイス

- ・技術の製作で重要なのは集中していねいに作業に取り組むことです。  
この点によく注意し、指示を守って取り組めば必ず良い作品を仕上げることができます。  
あきらめずにがんばって取り組んでください。